

もとそうじゃ おうみ 元総社蒼海土地区画整理事業 に伴う発掘調査

元総社蒼海遺跡群(53) ～「上野国府のマチ」の様子～



▲12号住居跡…一辺が約5mの古墳時代終末期の竪穴式住居跡です。この住居は他の住居と重なっていたため、カマドは残っていませんでしたが、たくさんの土器やおまつりに使用した石製構造物など、いろいろなモノが出土しました。

はじめに

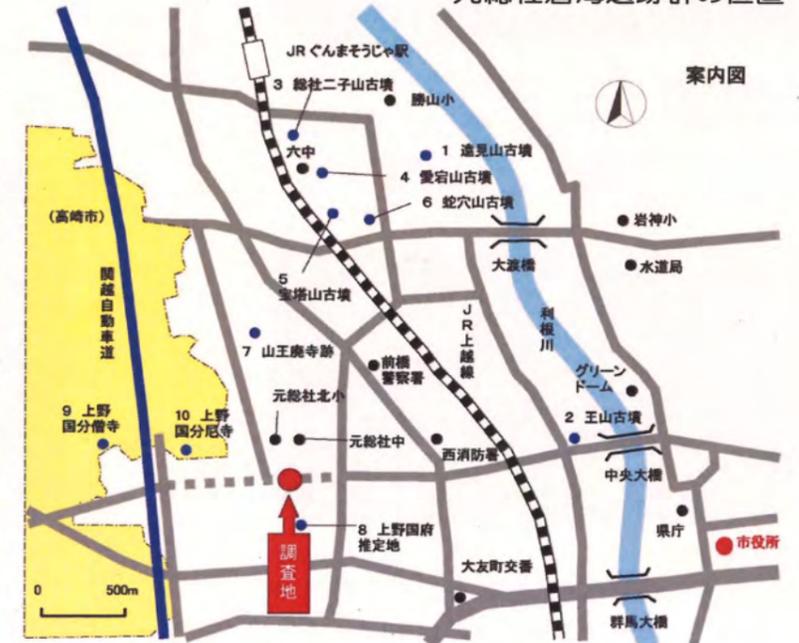
教育委員会では、平成11年度から元総社蒼海土地区画整理事業に伴う、埋蔵文化財の発掘調査を実施しています。

元総社蒼海地区は、上野国府(こうぜいこくふ)の推定地です。古代における群馬県の政治・経済・文化の中心地と考えられている場所です。

本年度の調査地は、元総社公民館の北西200m、牛池川を見下ろす高台にあります。このあたりは過去の調査でも多くの遺構や遺物が見つかっています。現時点まで、古墳時代終末から平安時代まで、長い時代にわたる遺構・遺物が多数見つかりました。

今回の現地説明会では、発掘された遺構や遺物をご覧いただき、いにしへの時代に生きた人々に、想いを馳せてみてはいかがでしょうか。

元総社蒼海遺跡群の位置



総社古墳群・山王廃寺・国府・国分寺



★ … 元総社蒼海遺跡群 (53)

| 5世紀 | 6世紀 | 7世紀 | 8世紀 |
|--------------------|----------------------|-------------------------|--------------|
| ● 1 遠見山古墳 前方後円墳70m | | ■ 4 愛宕山古墳 方墳56m・家形石棺 | |
| | ● 2 王山古墳 前方後円墳76m | ■ 5 宝塔山古墳 方墳60m・家形石棺・漆喰 | |
| | | ■ 6 蛇穴山古墳 方墳43m・漆喰 | |
| | | 7 山王廃寺 | 8 上野国府 |
| | | | 9 上野国分寺 |
| | ● 3 総社二子山古墳 前方後円墳90m | | 10 上野国分尼寺 |
| 大前方後円墳 群雄割拠の時代 | | 大方墳と山王廃寺 古代群馬の中心 | 国府と国分寺 国家の形成 |

元総社蒼海区画整理事業に伴う発掘調査

元総社蒼海遺跡群(53) ～「上野国府のマチ」の様子～

平成25年10月5日開催
前橋市三保町2-10-2前橋市教育委員会文化財保護課
電話027-231-9531

元総社蒼海遺跡群(53)の概要

本遺跡では、6世紀後半(古墳時代)から10世紀(平安時代)までの住居跡が約30軒見つかりました。北側の部分では、古い住居の上に新しく住居を建てており、住居跡が重なり合った複雑な状態で発見されました。1号住居跡は、土器を重ねてカマドの支柱に使った状態で出土しました。また、臼玉や円板などの石製模造とよばれるおまつりに使った遺物も見つかりました。このほかに、お墓も2基つみつか、1号墓からは古銭が重なった状態で見つかりました。



▲ カマドの支柱に使われた土器

1号住居跡は、カマド内に土器が重ねて置かれた状態で出土しました。この住居跡では、カメをかける支柱に、土器を重ねて使っていたようです。支柱には石や粘土を使用したものもあります。



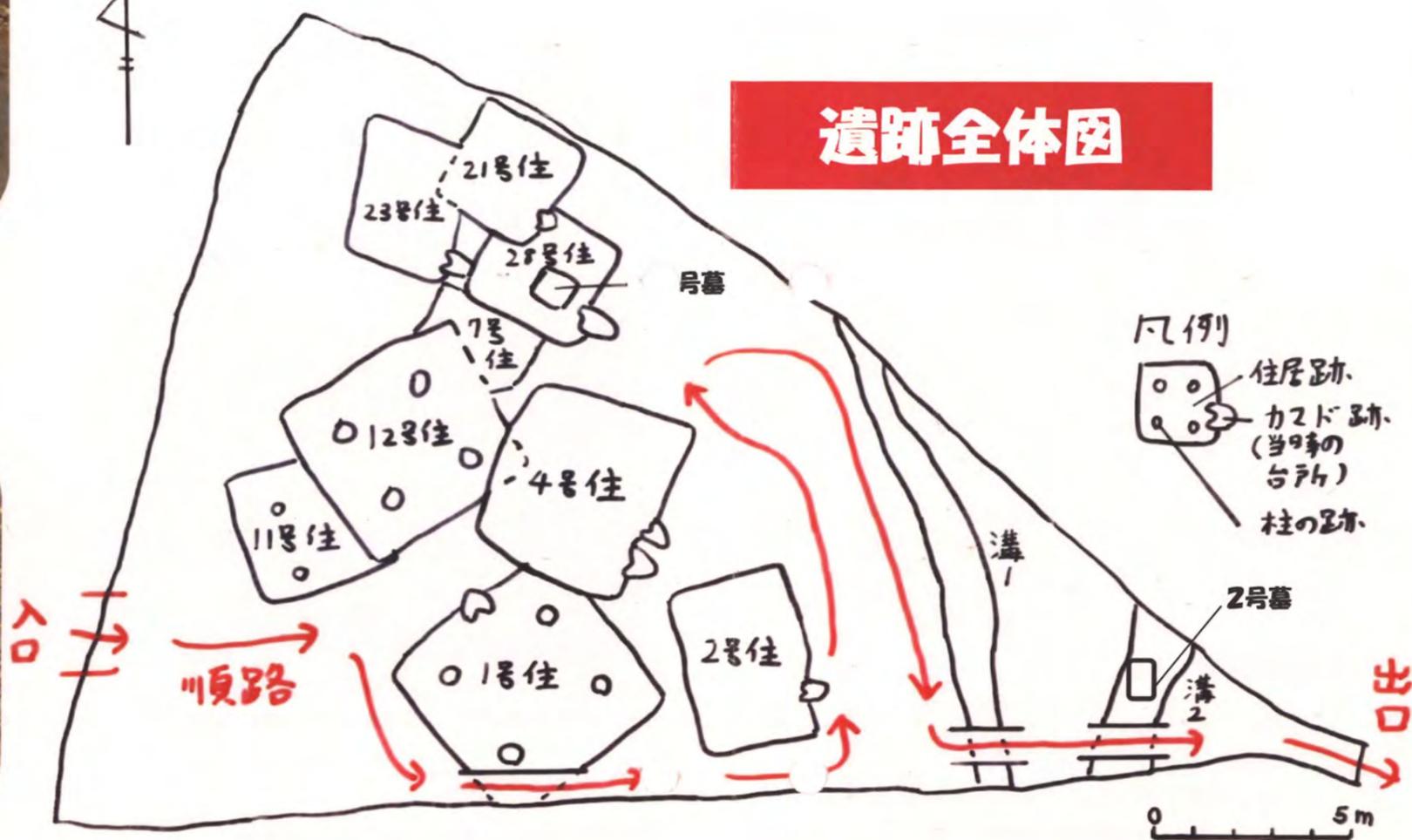
▲ 石製模造品(臼玉)の出土

1号住居跡からおまつりに使った石製模造品が多数見つかりました。これは直径1cm弱の大きさの臼玉です。



▲ 2号住居跡

ほかの住居とくらべて、横に長い住居になります。形や、方向が他の住居と違う特徴があります。



遺跡全体図



▲ 12号住居跡全景

古墳時代の終末期と思われる12号住居跡は主柱穴の4個が良く残っています。また、おまつりに使った石製模造品が見つかりました。



▲ 12号住居跡から出土した土器破片

12号住居跡の床面から、土器の破片が出土しました。床付近の土器は、当時のものであり、住居の年代を知る手がかりとなります。



▲ 2号墓から出土した石

2号墓の底面からは石や焼けた土が発見されました。この石の上に棺おけをのせて、火をつけて火葬を行なったと思われます。



▲ 1号墓から出土した古銭(六文銭)

江戸時代に掘られたお墓で、寛永通宝が重なった状態で見つかりました。



▲ 石製模造品…12号住居跡から石製模造品と呼ばれる遺物が出土しました。臼玉や円板などが見つかりました。